



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2020.10 No.28 神戸マツチョ主義

現在、神戸市の最高幹部として3人の副市長と15の局長がいますが、**全員が男性**です。過去、女性局長はいるのかと当局に尋ねると、「**少なくとも平成から令和の時代にかけての30年余、存在しない**」とのことでした。

「担当局長」や行政委員会の事務局長、そして区長などの「局長級」には女性が複数いますが、神戸市会のひな壇に座する最高幹部には、30年以上の間、女性が居ません。

神戸市が、明石市ほか近隣の市に、若者世代の獲得で負けているのは、女性のアイデア、女性の発想が欠けているからではないかと思えます。**今は住居や居住地について決定権があるのは、家族の中でも母であり、妻、すなわち女性です。女性にアピールする政策を考えるためには、女性の力を借りなければなりません。**

しかし、神戸市は独自の「神戸モンロー主義（市職員至上主義）」「純血主義」を守ってきた中で、女性の昇進を徹底して拒んできた歴史があります。私はこれを「**神戸マツチョ主義**」と呼んでいます。

いつも本会議場のひな壇の前が私の議席ですので、目の前に黒い背広姿がずらっと並ぶのを見て、単調でつまらない、魅力のない神戸の象徴ではないかと思ってしまうこともあります。

女性初の局長誕生に向け、市長に強く促して参りたいと思います。



女性が皆無の神戸市幹部 = 「神戸マツチョ主義」

市が率先して女性活躍の推進を

○委員（岡田ゆうじ） 神戸市というのは、去年までは男女活躍勤労課という課があって、いわゆる女性政策に関する課があったんですね。だけど、今回それを廃止してしまって、企画課の中の一センターに格下げしてしまっただけであります。だけど、政令市20市ある中で、こんな市というのはないんですね。神戸市だけなんです。女性（活躍）に関する課がないなんていうのは。

例えば、札幌市とか名古屋市とか川崎市なんていうのは、要は課より上の、神戸でいうとこの部、男女部というのをやってるんです。札幌市というの、男女共同参画室というのがあるんです。男女共同参画室男女共同参画課というのがあるし、女性就労支援課とか、シングルマザー課とか、女性に関する課が複数ある。川崎市もそう、人権男女共同参画室というのがある。名古屋市も男女平等参画推進室。これは全部課よりも上の部です。福岡市というの、男女共同参画部というのがある。その下に男女共同参画課、女性活躍推進課とかいろいろ女性に関する課が複数あるんです。

政令市20市ある中で、神戸市だけが、いわゆる女性に関する課がないんです。ほか全部、堺市も大阪市も相模原市も新潟市も全部、男女共同参画課とか男女共同多文化共生課とかUD・男女共同参画課とか、名前は違えどもあるのに、神戸だけでなくしちゃったんです。

（女性活躍が）神戸市にとって最も重要な施策です、という割には——いつか本会議で言ってやろうと思うんですけど——要は市長、副市長、そして各局長、もう全員男。1人もいない。

この姿を見せて、「神戸市民の皆さん、女性に活躍してもらいたいと我々は思ってます。どうぞ、民間企業の皆さん、女性をもっともっと登用してください」と言えないじゃないの。



議会で発言する
岡田ゆうじ 議員

この企画調整局自身が男女の課もないし、これだけの（少ない女性管理職の）人数しかないというのは市民に対して、民間に対して説得力に欠けると思う。女性は企画や調整をしたらいかんのかちゅうことになっちゃう。

企画調整局長としてのリーダーシップで、及ぶところ及ばないところあると思うんですけども、ちょっと危機的な状況やと私は思いますので、危機意識を持って（女性活躍の推進を）やっていただきたい。

政令指定市の男女共同参画政策の担当課

市名	担当課名	市名	担当課名
札幌市	男女共同参画室男女共同参画課	名古屋市	男女平等参画推進室
仙台市	男女共同参画課	京都市	共生社会推進室男女共同参画推進担当
さいたま市	人権政策・男女共同参画課	大阪市	男女共同参画課
千葉市	男女共同参画課	堺市	男女共同参画推進課
横浜市	男女共同参画推進課	神戸市	企画課 (令和二年度、男女活躍勤労課を廃止)
川崎市	人権・男女共同参画室	岡山市	女性が輝くまちづくり推進課
相模原市	人権・男女共同参画課	広島市	男女共同参画課
新潟市	男女共同参画課	北九州市	男女共同参画推進課
静岡市	男女参画・多文化共生課	福岡市	男女共同参画部 男女共同参画課・女性活躍推進課
浜松市	UD・男女共同参画課	熊本市	男女共同参画課

